



# けやきっ子

六栄小学校だより

第27号

令和6年12月19日

文責：久保田 眞二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

## あいさつはなぜするのでしょうか？

朝から校門に立って子どもたちの登校の様子を見ていると、いろんな子がいます。「おはようございます」の後に礼をしてくれる子。元気に「おはようございます」とあいさつしてくれる子。小さな声であいさつをする子。あいさつしても黙って通り過ぎる子、などなど。

ところで、あいさつの意味を考えられたことはありますか。子どもさんに「あいさつは、どうしてしなければならないの？」と聞かれたらなんと答えますか。私はあいさつをする理由には次の3つがあると考えています。



### ①いじめをなくすため

いじめで精神的に大きなダメージを与えるものが「無視」です。無視というのは、相手の存在を認めないということです。一方、あいさつは、「あなたがいることに気付いているよ。」「あなたのことを知っているよ。」という相手の存在を認める言葉なのです。存在が認められるということは、「ここにも大丈夫。」という居場所を確認できて嬉しくなります。みんながこんな気持ちをもてば、いじめはなくなると思います。だから、あいさつをすることはいじめをなくすことにつながります。

### ②幸せになるため

あいさつをする人、そうでない人では、周りに与える印象が違ってきます。あいさつをする人の周りには次第に人が集まり、会話も生まれ、笑顔も増えてきます。そして、困った時に助け合ったり、一緒に喜び合ったり、人と人とのつながりが出てきます。人と人とのつながりがある中で生活していくと「幸せ」を感じられるようになります。

### ③心を豊かにするため

そもそも日本語はとてもきれいで素晴らしい言語です。「おはようございます」の語源は、歌舞伎から来ており、「お早くからご苦労様です。」という相手をねぎらう言葉が語源だそうです。「こんにちは」の語源は、あつた人に対して「今日は、お元気ですか。」「今日は、ご機嫌いかがですか。」などが省略されたものだそうです。言葉の意味を正しく理解し、きれいな日本語を使っていれば、心が豊かになるのではないのでしょうか。

さて、子どもがあいさつをするようになるためには大人の働きかけが大切です。特に保護者の働きかけは重要です。朝から笑顔でわが子に対してあいさつをして、子どもさんの存在をしっかりと認めてあげてください。「私はあなたがいることを知っているよ。」「いつも気にかけているよ。」「大好きだよ。」という気持ちを子どもさんに投げかけてください。親さんから日常的にあいさつされている子どもさんは、自己肯定感が高まり、周りの人にも思いやりを持って行動し、周りから好かれる人に成長していきます。

## 進んで取り組む3年生の成長が嬉しい！

本校の銀杏の木は今の時期に葉っぱをたくさん落とします。そして、持久走の練習とも重なります。そんな中、3年生の有志数名が率先して銀杏の葉っぱの掃除をしてくれています。朝から寒い中に、みんなのことを考えてボランティア清掃活動してくれる3年生に感謝します。また、自分たちで考え、進んで行動できるようになった3年生の成長を嬉しく感じます。これからも更なる成長に期待しています。



## 立派な門松ができました！

12月15日(日)、長洲町消防団第13分団に所属しておられるお父さん方で体育館前の校門に立派な門松を設置していただきました。休日の寒い朝にもかかわらず、六栄小学校のために集まっていたき、取り組んでいただきました。おかげさまで、新鮮な気持ちで新年を迎えることができます。寒い中、早朝からありがとうございました。感謝！



## 夢を叶える職場体験！

12月12日・13日の2日間、玉高附中生2年生の城戸万葉さんが六栄小学校に職場体験に来てくれました。城戸さんは2年前の本校卒業生です。



1年生から6年生までの全ての授業を見たり、支援をしたりしてくれました。休み時間も子どもたちと積極的に遊んでくれました。

城戸さんの将来の夢は教師になることだそうです。「今回の職場体験を通して、児童との接し方や教え方を学ぶことができました。先生方の大変さも分かりました。」という感想を述べてくれました。わずか2日間の職場体験でしたが、夢を持って前向きに取り組む姿に感心しました。是非とも、教師になりたいという夢を叶えてほしいですね。

インフルエンザが流行してきました。手洗い・うがい・マスク着用等、各自で感染症対策に努めましょう。また、体調が良くないときは無理をせずに早めの休養と病院受診をしましょう。